

那須連峰の南端 山懐に眠る沼原(ぬまっばら)湿原 walk

日本最初の大型揚水発電所建設の地



福島県 沼原(ぬまっばら)揚水発電所 上池貯水池 と 沼原湿原 2003.6.28.
0307numahara.htm 2003.6.14. by M. Nakanishi

鉄鋼会社に入って 溶接の技術屋としてスタート切った最初のしことが「ぬまっばら」水圧鉄管(ペンストック)用の高溶接性 70 キロ高張力鋼板の実用化開発。 30 数年前 接合金の専門家への第一歩でした。

今 那須連峰の南懐 沼原揚水発電所上池「沼原貯水池」の横 沼原湿原にはニッコウキスゲが満開。すぐそばには「鬼が面山」がそびえ、山麓の板室温泉の「赤滝温泉」は含鉄泉。





沼原(ぬまっぱら)発電所の概要と上池沼原貯水池 2003.6.28.

サラリーマン生活を終えるに当たって 是非行ってみたい所で、気になっていました。

すっかり引越しの準備を終えて 梅雨空の中 6月28日の朝 家内と二人で出かけました。

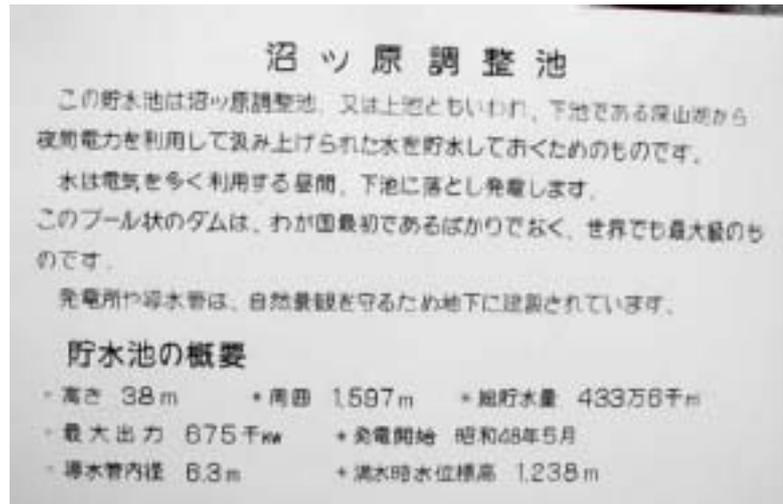
山は霧雨でまったく見えず。霧雨の中、ここも行きたかった北温泉に行って天候の様子見。

夕方に雨上がりのヌマッパラ湿原に立ち、かつての時代を思い起こしながら素晴らしい景色にみいりました。

ニッコウキスゲが咲き出したところで、

また 天気が悪かった夕方だった事もあり、湿原は数人で静寂そのもの。

それこそ 眼前に広がる湿原の景色を独り占め。素晴らしい景色でした。



湯治場の雰囲気ただよ北温泉へ



那須連峰 北温泉 2003.6.28.

那須湯本温泉の街を抜けるあたりから上は もう完全に霧の中、茶臼岳へのロープウェイ駅への那須スカイラインを走ってそこから右へ北温泉への道走って行き止まりの北温泉の駐車場へ。

ここに車を置いて、谷への道を約10分歩くと霧の中に古い北温泉の建物が見える。

建物の前には広い温泉プールのような露天風呂。あいにくの雨で誰もいない。一度入りたかった山の中の大露天風呂 今日独り占め。

湯治場の雰囲気そのままの北温泉。

古い建物の中 幾つもの内湯があって いずれも綺麗に整備されているが、どれも時代物。すっかり家内も気に入った様子。それぞれ3つも風呂に入りました。

霧雨と霏の中 独り外の露天風呂へ。霧にけふる谷間の自然の中の露天風呂をすっかり堪能。

湯治場の雰囲気漂う北温泉の中と温泉 2003.6.28.



沼原 (ぬまっばら) 湿原へ

北温泉をやったり楽しんで、一旦スカイラインを下って街にでて、那須連峰の山裾を巻くように南へ板室温泉の道をとる。

約 20 分ほど走って 板室温泉の手前 見落とししそうな沼原への標識で霧の中を山へ向って走る。

人家のない山への登り道。霧の中の一軒屋喫茶店が忽然と現れる。こんなところで・・・と不思議な気持ち。

さらに 15 分程登ると霧が切れ

てくる。霧の上へどうやら出れる。那須連峰の峰々は雲の中であるが、視界が開け、この林道の終点 沼原貯水池の駐車場に出る。





沼原発電所 上池「沼原貯水池」背後に鬼が面山が見える 2003.6.28.

眼前に静かな湖面の沼原貯水池が広がっている。

とても人工の池と思えぬ森に包まれた貯水池で、この水の下に発電所が埋まっているとは思えない。



沼原揚水発電所 概要

会社に入ってすぐ 当時まだ実用化間もない70キ口高張力鋼 溶接すると溶接部が脆化して脆くなる。また溶接時の水素を吸って溶接条件を間違えると割れる。高強度であっても溶接が安全に出来る材料を開発し、安全・高品質に溶接が出来る溶接施工条件を見つけ出すことが、至上命令。

一から溶接技術・溶接の品質を教えてもらった記念すべき水圧鉄管。毎日 毎日 先輩達が「ぬまっばら ぬまっばら」と……。 したがって「沼原」と書いて「ぬまっばら」と読む事知っていました。

那須で食事した時地元の人に「ぬまっばらのニッコウキスゲ もう咲いているだろうか・・・」と聞くと「ぬまっばらは今 一番いい時 一時間ほどで行ける」との答え。

「ぬまっばら」と言えるのが、うれしかった。

傍らの案内板の地図をみると沼原貯水池の向こうに見える山に「鬼が面山」の名がある。その下は含鉄泉の板室温泉。右手の山の麓と貯水池我交わるところが沼原湿原。背後に那須連峰が雲の中にそびえている。

当代の鉄の技術の粋を集めた揚水発電所に引かれてやってきましたが、ここには「鬼」と「含鉄泉」鉄の里のにおいぷんぷん。産鉄の民が何か痕跡を残しているに違いない。



沼原貯水池の土手が左手にある沼原湿原の入り口近傍

貯水池の右端のところから森の中につけられた山道を下に約 20 分程下ると沼原貯水池の土手の縁に出る。沼原湿原のモニュメントが立っていてそこから木道の続く沼原湿原が始まる。

静かな夕方 まだ ニッコウキスゲが咲き出したところであるが、ツツジの赤とニッコウキスゲの黄色と木々の緑に水の青 背景は那須連峰。

「ぬまっばら」の名前ならびに那須三本槍岳の頂上から眺めたことはあっても訪れるのははじめて。こんな美しい湿原だったとはもう 感激。

あまり知られず、ひっそりと・・・と願わずにはおれない。今はなすのメインルートから離れているが、そのうちに尾瀬並になるのが心配。



ニッコウキスゲが咲き始めた沼原湿原 2003.6.28.

水圧鉄管と「ぬまっばら」の名前しか知らなかったが、素晴らしい湿原と貯水池が自然に溶け込んでいる。また、鬼と含鉄泉 おそらくは産鉄の民が痕跡を残した「和鉄のふるさと」であるに違いない。そういえば この沼原湿原を抜けて三斗小屋温泉へと続く古道が通っている。

古い時代の鉄の里に当代の鉄のモニュメントがたち、30 数年を経て、人知れず自然の中に溶け込んでいく。思わず 万歳を叫びたい気持ちで湿原をあとにした。「ぬまっばら」で始まった約 40 年の材料術

屋のサラリーマン生活 「ぬまっばら」でリタイヤ。 面白いサラリーマン生活でした。
本当に因縁めいていますが、満足感に浸りながら、真っ暗になった東北道を柏へ

2003. 6. 28. 夕 by M. Nakanishi

後日 インターネットで私の記事を見た先輩の N 氏 直接このヌマツバラの厚板開発を行っていた人ですが、次のようなメールを戴きました。

ホームページはいつも楽しみです。
沼原は住金の70キロハイテンが3000tくらい地下に配置されています。小生が全て立会い三菱神戸に納めたものです。
また
下池の深山湖（人工湖）にそそぐ小川で栃木県が2000KWの水力発電所を作っていますがその水圧鉄管はアルミニウム溶射が施されています。佐藤鉄工所の製作で県企業局と実施したものです。いまごろ懐かしくおもいだされます。・・・・・・・・

2003.7.15. N 氏 拜。

